

# 保育士の処遇改善と確保対策

## 3つの取組

1 保育士の処遇改善

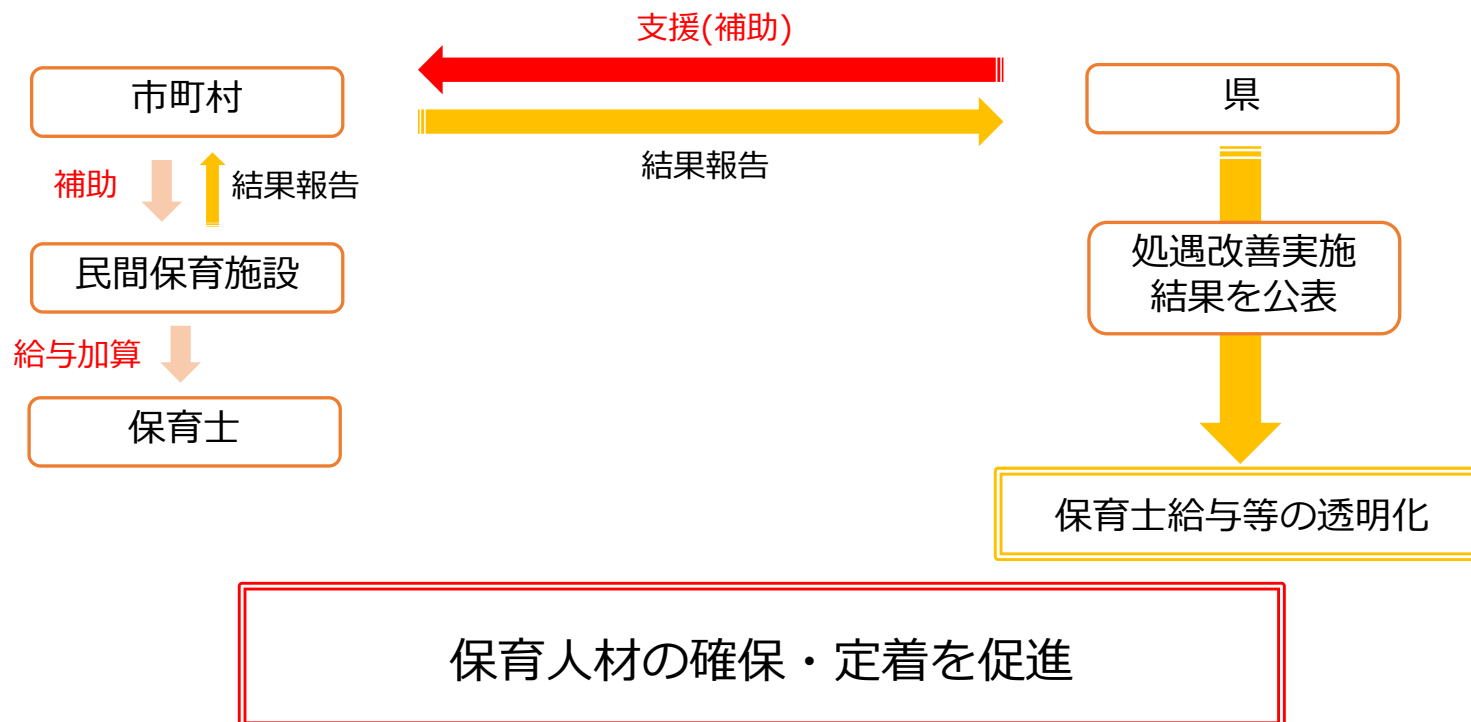
2 保育の質と保育士の職場環境の向上に関する研究会

3 保育人材相談窓口の設置

# 1 保育士の処遇改善

こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える保育環境を整備するためには、保育人材の確保と質の向上を図ることが重要。  
そのため、保育所等での保育士の勤務環境を改善する取組を行う。

- 保育士の処遇改善（給与加算）に取り組む市町村を支援
- 施設における保育士給与等の処遇改善状況を透明化（公表）することにより、保育人材の確保・定着を促進。



## 2 保育の質と保育士の職場環境の向上に関する研究会

保育士自らが健康で安心して働き続けることができる環境づくり、保育の質の向上を検討・改善する機会が必要。

- 多様な施設で就労する保育士が交流する場（研究会）を設置。
- 保育現場で共通する課題などを保育士同士で共有するとともに、保育環境の改善や働き方改革、課題解決策について研究し研鑽。

### （仮称）保育の質と保育士の職場環境の向上に関する研究会

保育士

有識者

関係団体

県

### 取組内容

①就学前教育やインクルーシブなど新たな保育の研究

②意見交換会

③資質能力向上研修

④困りごとや悩みごとの相談

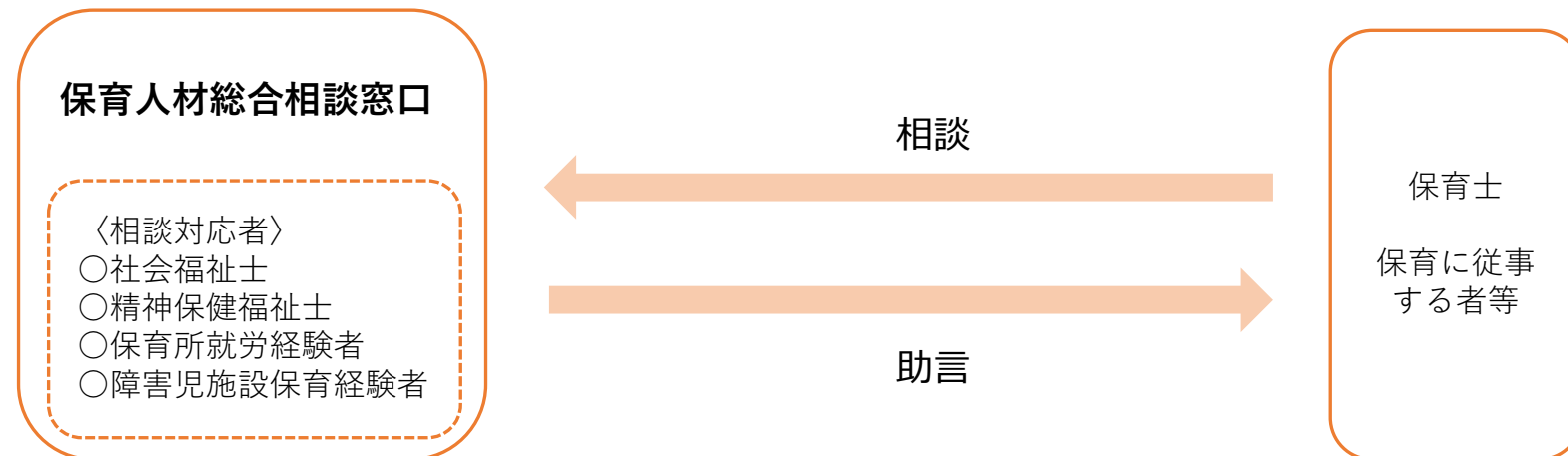
⑤保育人材のマッチング

⑥新たな保育人材の発掘・潜在保育士の復職支援

### 3 保育人材相談窓口の設置

保育現場での悩みや課題について職場外で相談できる環境の整備を行うことにより、保育士等が安心して就労を継続する仕組みが必要。

- 保育人材の退職の主な要因となっている職場の人間関係や発達に課題のある児童への対応、保護者への対応など、職場以外でも保育士等が相談できる窓口を設置。
- 専門家や経験者等による効果的な助言を行うことで、保育士等の不安を緩和し、就労継続を促進。



## 奈良県保育士等実態調査 第1回有識者検討会 開催概要

開催日時 令和5年12月26日(火) 10:00~12:00

出席者 学識経験者、養成校関係者、保育士、市町村関係者

議題 (1)保育士等実態調査の結果について

(2)調査結果から見えてくる課題及び本県の保育士確保対策(案)について

概要

議題(1)及び(2)について、出席者よりご意見をいただいた主な内容は以下のとおり。

- ・不適切保育と働き方のマスコミの取り上げ方により、人材確保の厳しさが加速度的に進んだ。
- ・**保育現場における人材不足は深刻かつ喫緊の課題。**
- ・ICT化は1人1台ずつとまでは中々進まない。ICT化する際は、どの業務をICT化したいのかを明確にして取り組むべき。
- ・奈良の施設は、草抜き労働が多く、当たり前になっている。園庭が広いためでもあるかも知れないが、園庭の草抜きは、保育士以外の職員が担うべき。
- ・**奈良は初任給が安い印象。初任給が安いと学生は選ばない。**
- ・研修も大事であるが、**まず人を確保しないと、研修に行かせることができない。**
- ・基本給アップは、施設にとって死活問題。**何より処遇改善に取り組んでいただきたい。**
- ・**まず処遇改善による人材(量)の確保とその上で質の確保に取り組む必要がある。**
- ・処遇改善について、透明化につながるように何をどのように公表していくのかハッキリ示す必要がある。
- ・保育料の無償化が自治体独自に取り組みが進められているが、**保育士が十分に確保できない中で、今以上に保育需要が増えても子どもを受け入れてあげられないのが実態。**
- ・受入体制が整わない状況では、保育士の負担の増加を招き、これにより保育の質の低下につながり、ひいては**健やかな子どものはぐくみに悪い影響を与える**ことを、行政にも保護者にも知っていただく必要がある。

※意見の内容には、一部保育関係団体によるものを含む。